



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校

コロナ禍での体験活動

楠隼中学校では、例年、地域の御協力をいただきながら、農業漁業民泊体験、職場体験、チャイニーズキャンプといった体験活動を行ってきました。今年度は新型コロナウイルス感染症の対策を行いながらの体験活動を10月9日に実施しました。

中学1年生は、「ディスカバリー大隅」を行い、高山城跡や肝付歴史資料館等を訪問しました。自分の住む地域、大隅の歴史・文化・産業に目を向けることで、地元理解を促す機会となりました。今後は、地域の一員としての自覚をもってさらに成長してくれることと思います。

中学2年生はオンラインによる「社会人に学ぶ」を実施しました。地域で働いている方々に、実際に仕事の内容を話していただき、職業観や勤労観を学ぶことで、新たな自己理解を深めることができましたことと思います。

中学3年生はチャイニーズデイを実施しました。本校では、中学2年生から週1回、中国語の授業を行っています。今回のチャイニーズデイでは、終日、中国語を用いた学習活動を実施しました。日頃学んでいる中国語を駆使しながら、意欲的に活動を行う生徒の姿が印象的でした。



高校

「大学入学共通テスト」に向けて だるまの目入れ式

10月9日、7校時を利用して高校3年生のだるまの目入れ式が行われました。

今年度から始まる「大学入学共通テスト」までいよいよ残り100日を切り、高校3年生はスタートをかけていく時期となりました。

目入れ式ではまず校長先生、各クラスの担任の先生と生徒代表からそれぞれ激励のお話や決意の言葉などがあり、だるまに目を入れました。だるまの目入れ式は開校以来高校3年生が受験の100日前を前後に行い、今年で4回目になります。

今年度の高校3年生は楠隼開校時に中学に入学してきた1期生になります。目入れ式の中では、中学時代の担任の先生も参加し、激励をもらいました。このような光景は中高一貫校の楠隼ならではのものではないでしょうか。目入れの後は、保護者の方々から生徒達へうなぎのお弁当が配られ、生徒みんなで食べました。ここからの高校3年生の成績が「うなぎのぼり」になること間違いなしと確信しています。

また、10月は毎週のように大学受験に向けた模試が行われる時期で、受験生は心身ともにづらい時間を過ごすこととなりますが、自らが掲げる目標の達成に向かって一歩一歩前進して欲しいと心から願っています。

